

建築研究所ニュース



平成22年9月17日

1年間の「地震工学研修」が修了し開発途上国13ヶ国からの 22名の研究者や技術者は帰国へ

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波に関する1年間の「地震工学研修」を国際協力機構（以下 JICA）と協力して行っています。1960年に開始以来、今回の修了生22名を含めて、現在78ヶ国から1,014名の研修生を受け入れています。

「地震工学研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（以下 GRIPS）、JICAとの連携により、所定の単位を取得すれば、修士号の取得が可能な研修となっています。

昨年10月に開講した「第50回地震工学研修」は、参加した13ヶ国22名の研修生全員が修士号学位を取得し、1年間の研修を修了しました。研修開始50年目にあたる今回、その累計は1,000名を超えました。過去の研修修了生では、現在、包括的核実験禁止条約機関CTBT0のグェンデル国際監視制度局長（1976年修了）やインドネシア教育省高等教育局のサントソ局長（1979年修了）らを輩出しております。

この他、地震工学研修以外の約2ヶ月程度の様々な研修を含めた修了生の累計は96ヶ国=1,481名を数えております。

9月17日（金）に建築研究所で閉講式が行われ、佐藤武明JICA筑波所長、岡崎健二GRIPS教授らの来賓が列席し、建築研究所理事長村上周三から修了証書が研修生に手渡され、「皆さんが研修で習得された経験、知識は必ず母国の発展に寄与されるものと確信しております。」とあいさつした。また、修了生の日本-ペルー地震工学研究センター・ルイスさんは「この研修で学んだ知識、技術、経験を今後大いに活用していけるものと確信しています。」と語っています。国を遠く離れ、1年間の日本での研修生活を終えた22名の研修生は、それぞれの想いを胸に帰国の途につきました。

（内容の問合せ先）

独立行政法人建築研究所
所属 国際地震工学センター
管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp

ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、右記問い合わせ先へお知らせ下さい。

<参考1：研修生の出身国名（13ヶ国=22名）>

アルジェリア、中国（2名）、コロンビア、エルサルバドル(3名)、
フィジー、インドネシア(3名)、ネパール、ニカラグア、マレーシア(3名)、
ミャンマー、パキスタン、ペルー(3名)、フィリピン

<参考2：関係写真>

(1) 政策研究大学院大学 (GRIPS) ・学位記授与式 (22. 9. 16)

① 村上建築研究所理事長が研修生に修士号学位記を授与



② 修士号学位を授与された研修生22名と研修関係者



(2) 第50回 国際地震工学通年研修 閉講式 (22. 9. 17)

① 村上建築研究所理事長が研修生に修了証書を授与



② JICA 筑波・佐藤所長 (写真右) が研修生に修了証書を授与



<参考3：修士論文一覧>

2009-2010 国際地震工学研修生の修士論文のタイトル（和訳）

（地震学・津波防災コース）14名

中国	中国南西部、鮮水河断層の三次元地震サイクルモデル
コロンビア	地震波の振幅解析によるガレラス火山下の長周期地震及び微動の震源決定
マレーシア	マレーシアの強震観測の評価と長周期地震動の重要性を考慮した改善の提案
マレーシア	レシーバ関数解析によるマレーシア広帯域観測点下の地殻構造の決定
ミャンマー	ミャンマー沈み込み帯沿いの大地震による津波シミュレーション
ネパール	常総市におけるL型アレイを使った空間自己相関法の有効性の検討
パキスタン	SPAC法及びHVSF法の有効性に関する実験的研究
ペルー	リマ市の強震観測を使ったスペクトルバージョン法によるローカルサイト効果の分析
フィリピン	フィリピン周辺で津波を生じる沈み込み帯の地震の震源パラメーター
フィジー	フィジー沿岸の津波シミュレーションとハザード評価
インドネシア	沖合と海岸の津波高比率を適用した津波予報改良のための新手法提案
インドネシア	インドネシア強震観測網の加速度記録を用いたマグニチュードの決定
マレーシア	ラブアン島における津波ハザードマップ作成のための数値計算
ペルー	2001年6月23日ペルー地震による津波の浸水計算モデルの検討

（地震工学コース）8名

アルジェリア	有開口の多層鉄筋コンクリート造耐震壁のせん断挙動
中国	確率論的手法に基づく地震動の距離減衰
エルサルバドル	単純モデル解析・FEM解析による補強組積造の挙動予測
エルサルバドル	飽和砂の動特性に与えるサンプリング攪乱による影響
エルサルバドル	コンクリートブロック造の構造要素の損傷評価モデル
インドネシア	2006 ジョグジャカルタ地震へのRADIUS手法の適用と検証
ニカラグア	強震記録を用いた入力地震動損失と構造物応答の評価
ペルー	ペルーにおける免震建築物の地震リスクと経済性の評価